

事務事業名 障がい者デイサービス施設整備事業補助金		所属部 健康福祉部	所属課 長寿障がい福祉課
総合計画体系	政策名 (Ⅲ) 支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》	所属G 障がい者福祉グループ	課長名 糸原幸子
	施策名 (23) 障がい者(児)福祉の充実	担当者名 茂富加奈子	電話番号 0854-40-1042 (内線) 2151
	目的: 対 市民 意図 日常生活をいきいきと安心して暮らす。	予算科目 会計 款 大事業 大事業 0 1 1 5 0 1 項 目 中事業 中事業 0 5 4 5 7 0	障がい者福祉総務管理事業
	基本事業名 (070) 福祉サービスの充実		障がい者デイサービス施設整備補助金
目的: 対 障がいのある市民及びその家族 意図 安心して暮らす。			

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (24年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
障がい者が施設入所から円滑な地域移行の促進を目的に、障がい者デイサービス施設等の充実を図るため、事業者に対して施設整備費用の一部を補助し基盤整備を推進する
※地域移行・・・障がい者個人が、自らの選択で、その住まいを施設や病院から、地域へもどすこと。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	28年度実績(28年度に行った主な活動) 生活介護事業所建設(雲南広域福祉会) 平成29年4月事業開始	29年度計画(29年度に計画する主な活動) 新設工事予定なし				
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア 補助額	千円	0	6,000	6,000	0
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	障がい者(児)およびその家族	ア 障がい者(児)数	人	3,652	3,751	3,750	3,750
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
障がい者デイサービス施設の基盤整備により、地域(在宅)で生活することができる	ア 整備箇所数	件	0	1	1	0	
	イ 在宅サービスの利用者数(生活介護・就労継続支援・就労移行支援・自立訓練)	人	396	405	416	420	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
福祉法人への補助金 6,000千円 (平成28年度は、社会福祉法人雲南広域福祉会)	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	0	6,000	6,000
	事業費計(A)	千円		6,000	6,000	
人件費	正規職員従事人数	人		1	1	
	延べ業務時間	時間		1	5	
	人件費計(B)	千円		4	20	
	トータルコスト(A)+(B)	千円		6,004	6,020	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
国(県)の補助金交付決定を受けて、市からも補助金を交付する。雲南市障がい福祉計画に基づく施設整備。 ※国(県)補助金は事業所へ直接交付(市を通さない)	事業計画は通常2,3年前から市と協議しなければ、国(県)への補助金申請に間に合わない。各法人等と早めの協議、情報連携を行う。	社会福祉施設設備整備費補助金交付要綱に補助率や上限額の明記がないため、過去の支給決定状況にあわせて支給決定している(これまでの上限額6,000千円)。

事務事業名	障がい者デイサービス施設整備事業補助金	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
-------	---------------------	-----	-------	-----	----------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	補助制度の継続実施を行う。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	地域移行支援が進まなくなる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		地域移行を進めていく上では、基盤整備は必須であり、事業者にとっても整備を図るきっかけとなるため補助制度以外の手段は考えられない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		市の補助金交付要綱に基づくものである。補助率を削減することにより、整備が進まなくなるおそれがある。
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		補助金交付事務が主であり、削減する余地がない。
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		市補助金の交付要綱に基づく交付であり、整備を行う事業者にとっては公平である。
D 公平性	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		障がい者福祉計画に基づく、障がい者デイサービス施設の整備ができる。
E 評価 の 総 括	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
今後も雲南市障がい者福祉計画に基づき、計画的な施設整備を支援する。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		